

まちのくすりやさん 第33号

今回のおはなし

「加齢黄斑変性症」
ザ・タバコ
Q&A



中高年に多く、失明の原因に・・・

加齢黄斑変性症

目の病気といえば、すぐに思い浮かぶのが白内障や緑内障ですが、ここ数年で、「加齢黄斑変性症」という病気がじわりと増えてきています。視界の真ん中がゆがんだり、暗くなったりする病気で、放っておくと失明のおそれもあります。この病気は、目のフィルムの役割をしている網膜の中心部分「黄斑」で起きます。50歳以上の男性に多いとされ、日本では成人の中途失明の原因の4位です。欧米では65歳以上の失明原因で最も多い病気です。

チェック表

- | | |
|--------------|----------------|
| ①視野の真ん中がかすむ | ②視野がゆがむ |
| ③視界が少し暗くなった | ④視野の一部が欠けて見える |
| ⑤たばこを長年吸ってきた | ⑥油の多い食事を好んで食べる |

①～④：加齢黄斑変性症の典型的な症状です。障子の棧（さん）や風呂場のタイルなど、マス目のあるものを片方の目だけで見てチェックして下さい。ゆがみや暗さの度合いは人によって違いますが、症状が進むにつれ、程度がひどくなって視力も下がり、色も識別できなくなります。この病気は、長年の喫煙や偏った食生活によって誘発されます。どれかにあてはまるようでしたら、早めに眼科医を受診して下さい。

発症リスクを抑える方法としては、太陽光を浴びやすい屋外で働く人が発症しやすいという報告があります。このため、サングラスをかけたり、帽子をかぶったりして日光の浴びすぎを防ぐのが良いと言われています。また、米国の調査から、ビタミンC、E、βカロテン、亜鉛などの摂取も勧められています。

《相談ナビ》製薬会社ノバルティスファーマが開設している「加齢黄斑ドットコム」
<http://www.kareiouhan.com/>では、症状の説明をはじめ、早期発見のための自己チェック表、治療できる医療機関を紹介しています。日本眼科医会も一問一答式で解説するページ
<http://www.gankaikai.or.jp/health/40/>を作っています。

ガ・タバコ

フィルタータバコ がんリスクと同じ

健康被害を少しでも減らそうというフィルター付きのタバコが数十年前から普及し、肺がんの一種「扁平上皮がん」は減ったものの、同じ肺がんの「腺がん」が増加し、肺がん全体が減少しない一因になっていることが、愛知県がんセンターの調査で報告されました。

浦安市薬剤師会では、禁煙支援を積極的に行っております。

ご遠慮なくご相談下さい。



**Q:「アスピリンはピリン系ではないんですか？
詳しく教えてください。」**

A: 解熱、鎮痛の目的で用いられるお薬の中に「ピラゾロン」といわれる一群のお薬があります。このピラゾロンを略して「ピリン」といいます。同じ目的で用いられるお薬にアスピリンがありますが、化学名を「アセチルサリチル酸」といい、ピリンとは違います。ピリンには、アンチピリン、アミノピリン、スルピリン、アロピラビタール等があります。ピリンは、解熱剤、鎮痛剤、感冒剤に含まれ、古くから使用されているものですが、まれに発疹等の副作用の起こることがあります。

しかし、ピリンを含むお薬であっても、使用上の注意等を守って使用する場合は安心して使用できます。かかりつけ薬剤師にご相談下さい。



花粉症の季節になりました。早めの予防が大事です。
かかりつけ薬剤師にご遠慮なくご相談下さい。

(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内
Tel 047-355-6812 (月~金: 10~15時)
Fax 047-355-6810
メールアドレス toiawase@urayaku.jp